

生活目標  
年間重点目標 あいさつをしよう  
11月の生活目標 友達と協力しよう



11月の行事予定	
1	火 委員会 読書月間（～25日まで）
2	水 シャッフル読書 ふれあい昼食会(3年)
3	木 文化の日 4年 上郷宿泊学習
4	金 4年 上郷宿泊学習
5	土
6	日
7	月 朝会 4年代休
8	火 クラブ 東の子アンケート実施
9	水 低おはなし会 港北区一斉授業研究会
10	木 港北区音楽会3年 歯科指導(4年) SC午後
11	金 集会(1・6年) 校外学習(2年) 美しい日本語の話し方教室(6年)
12	土
13	日 ふれあいスポーツデー イーストフェスティバル
14	月 朝会
15	火 クラブ
16	水 中おはなし会 お琴教室(6年)
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月 朝会 おはなし会(1年) (中休み)
22	火 歯科巡回指導(全校) おはなし会(2年) (中休み)
23	水 勤労感謝の日
24	木 代表委員会・読書タイム SC午前
25	金 おはなし会(3年)(中休み) お琴教室(5年)
26	土
27	日
28	月 朝会 区球技大会(5年)北綱島小学校会場
29	火 委員会 グランドゴルフ2年 吉田新田出前授業4年
30	水 おはなし会(高学年) 樽町中学校職場体験(2年生8名来校)

**学校カウンセラー（SC）来校予定**  
お子さんのことで気にかかっていることがありましたら、お気軽にご相談ください。日程の調整がありますので、学校までご連絡ください  
10日（木）14：00～17：00  
24日（木） 9：00～12：00  
担当 大関

**個人面談・校内作品展について**  
12月2日（金）6日（火）8日（木）9日（金）に個人面談を予定しています。今年度より後期の個人面談は希望制をとらせていただきます。短時間で恐縮ですが、充実した時間になりますようご協力をお願いいたします。詳しい日程は、後ほど個別にお知らせいたします。なお、面談につきまちは担任からご連絡をさせていただく場合もありますのでご了承ください。  
個人面談期間中は、図工の校内作品展も開催しております。子どもたちの力作を是非ご覧ください。  
個人面談以外の時にご覧になる場合は、なるべく16：30の閉門までにお越しください。

**区音楽会について**  
11月10日に、港北公会堂で行われる区児童音楽会に、3年生の代表児童が出演します。「一つの明かりで」「ブラックホール」を、学年合同で練習してきました。10日の朝の集会では、全校児童の前で発表をします。

**教育活動に関するアンケート**  
お忙しい中、学校をひらく週間、土曜参観に多数来校していただき、ありがとうございました。本校の教育活動に関するアンケートへの回答をお願いいたします。**締め切りは11月11日**となっております。結果は、よりよい学校教育を進めるための資料とさせていただき、他、学校報告会等で報告させていただきます。

**まちとともに歩む学校関係者懇談より**  
1 今年度の前期の取り組みを具体的な場面を挙げてお話いたしました。（学校より）  
「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」「特別支援教育」「児童指導」「安全管理」「人材育成・組織運営」の観点で学校の取り組みや子ども達の活動の様子を事例をもとに紹介しました。  
2 委員の方々との情報交換  
学校の具体的な取り組みの様子について、理解していただきました。授業の様子が昔とずいぶん変わってきている、ICTの活用も興味深いとの感想をいただきました。また、綱島新駅やマンション建設などで、工事車両が増えてきているとのこと。今後もっと工事車両が増える予定なので、子ども達の交通安全を守っていきたい。しかし、町が変わる様子を子ども達の総合学習などで取り上げられたらよいとの話もできました。

学校だより 11月号

平成28年11月1日発行



# 東 風

横浜市立綱島東小学校

## 喜・怒・哀・楽

学校長 荻原規彦

『喜怒哀楽』これは人間の感情の「喜び」、「怒り」、「哀れみ（悲しみ）」、「楽しみ」を表すものですが、最近『怒』だけが大きくなっているような気がして、少し心配です。

スポーツの世界では一度負けた相手との再戦の時には『リベンジする』という言葉が使われるようになってきました。英語としては「復讐」「報復」の意味で用いられますので、日本語の『リベンジ』には少し違和感があります。ゲームは勝ったり負けたりするから楽しいのであって、相手に対しては対戦できることに感謝し、常に尊敬の念をもつべきだと考えています。

人が集まり一緒に生活すれば、楽しいことだけでなく、いろいろな摩擦も生じます。学校や学級、班やグループの中でも同様です。大切にしたいのは自己解決です。

友だち同士でトラブルがあった時、双方の言い分を聞いてみると、はじめは

「自分は何もしていないのに・・・」「何か知らないけど・・・」と言いますが、事実を確認していったり、相手の気持ちを伝えたりすると、「え、そうだったの?」「気がつかなかった」に変わることも多いです。

自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを理解する、自分に誤りがあれば謝り、相手が謝ってきたらそれを受け入れる、そしてこんなことが起こらないようにするにはどうしたらいいかを考えることが大切です。

ケンカをしていた二人が先生を交えて話し合い、次の休み時間には一緒に遊んでいる光景を見ました。「あれ、さっきケンカしてたんじゃないの?」とたずねると、お互いに顔を見合わせて笑っていました。自分たちで解決できたようです。

怒りや報復に満ちた社会よりは、相手を思いやることのできる社会になってほしいと願っています。